

プロジェクト調達マネジメント実践【会場】 (4125122)

プロジェクトを成功に導くためには、発注者が明確な発注仕様を提示することが必要です。ケーススタディを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。また、数多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

開催日時	2025年9月24日(水) 10:00-17:00会場
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 共通業務(契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理)・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	佐藤義男 氏 (株式会社ピーエム・アライメント 代表取締役社長 PMI認定PMP) 石川島播磨重工業(現IHI)にて、CIM(コンピュータ統合生産)アプリケーション、原子力発電所検査データ収集・処理システム、AI(人工知能)応用システムなどの開発経験16年。日本デジタルイクイップメントにて、プロジェクトマネジメント実践経験を活かして、新規顧客向けSIビジネスのプロジェクト・マネジャーとして指揮・監督を行う。 現在、(株)ピーエム・アライメントを設立し、企業向けにPMコンサルティング・サービス(PM教育、PMO業務支援、アセスメント支援、DX人材育成)を提供。 2013年10月に「PMI年間最優秀教育プロバイダー」として表彰された(日本初)。 日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ)理事、PMI会員 著書「改訂新版PMBOKによるITプロジェクトマネジメント実践法」ソフト・リサーチ・センター社 共著「IT分野のためのP2Mプロジェクト&プログラムマネジメント ハンドブック」日本能率協会マネジメントセンター 共著「思いやり型リーダーシップ」サイバー出版センター
参加費	JUAS会員/ITC: 35,200円 一般: 45,100円(1名様あたり 消費税込み、テキスト込み)【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会(NBF東銀座スクエア2F)
対象	プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャーを目指している方、発注担当 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
特記	※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、受講証明書」を発行いたします。7PDU取得(スキルエリア: Ways of Working)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

会場のみ(オンラインなし)

■テキスト

当日配布

■開催日までの課題事項

特になし

◆趣旨:

JUAS「企業IT動向調査報告書2023」によれば、DXが緩やかに進展しています。

このビジネス変化に伴い、企業には変化に迅速に対応できる複雑・高度なシステム構築とそのプロジェクトマネジメント力が重要となっています。

プロジェクトを成功に導くためには、発注者が明確な発注仕様を提示することが必要です。

さらにベンダー・コントロールについて、意識とマネジメント技法を体得する必要があります。

一方、ICD(iコンピテンシディクショナリ)でも、ITベンダー企業への発注時に必要なスキルとして「調達・委託先の選定」が定義されています。

今回のゴールは以下のとおりです。

- (1) PMBOK(R) ガイド準拠のプロジェクト調達マネジメント・アプローチを習得する。
- (2) RFP作成のポイントを習得できる。
- (3) システム開発において考慮すべきITベンダー・コントロールのポイントを学ぶ。
- (4) トラブル事例により、問題点の整理と対策のポイントを習得できる。

本セミナーでは、ケーススタディを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。また、数多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

現在プロジェクトマネージャーとして活躍されている方、情報システム部門(企画・提案・見積・開発・運用・保守)管理者、発注担当の

方に必見の講座です。

◆内容 ※内容は変更する場合がございます。

1. 調達マネジメントの位置付け

- (1) 調達マネジメントのプロセス
- (2) 調達マネジメントのポイント
- (3) 調達契約の主な形態

2. ITベンダー・コントロールの仕組み

- (1) ソフトウェア請負業務の流れ
- (2) 見積りの取得
- (3) 受入検査
- (4) ITベンダー・コントロールの仕組み

3. 発注者に求められるスキルとは

提案依頼から検収までの必要スキル。

4. 調達マネジメントの計画

- (1) 発注者の明確な仕様決め

ITシステム構築に関するRFPの実態と改善について。

- (2) 契約タイプの選択

主な契約形態、ITベンダー委託によるリスク考慮について。

5. 調達の実行

- (1) 発注先選定

選定までのプロセス、発注先選定の評価基準（例）、作業担当者のスキルチェック、について。

- (2) 契約

モデル契約書、ソフトウェア開発契約の留意点について。

6. 調達のコントロール

- (1) 契約管理
- (2) パフォーマンス・レビュー
- (3) 演習問題
- (4) 調達終結

成果物の検収を行い、契約における未了事項を解決し、納入者との契約を完了する。

7. ITベンダー・コントロールにおけるリスク

- (1) 想定されるリスク
- (2) 重点留意事項

8. ケーススタディ（ITベンダー・コントロール・トラブル）

ITベンダー・コントロールのトラブルを取り上げ、発注者の問題点と発注担当者としての再発防止の対策をグループ討議し、実務に応用していただきます。

<<受講者の声>>

- ・現在抱えるIT調達課題に対して多数の解決策のヒントを得ることができた。また別途テンプレートを提供いただけるのも大変ありがたい。
- ・購買担当者にも役立つ内容でためになった。特にRFP作成（内容チェックする立場）、契約書（基本契約締結する立場）の知識についてためになった。
- ・講師の具体的な事例をおりませ、わかりやすいお話だった。
- ・発注者目線での内容でとてもわかりやすかった。社内に展開し、SEの発注能力向上に努めたいと思う。
- ・他社事例など世の中で起こっている状況等理解できた。ベンダーとの関わり方を再考するきっかけとなった。

※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。

7PDU取得（スキルエリア：Ways of Working）